

令和6(2024)年度12月補正予算(追加分)案について

今回の補正予算は、国の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に呼応し、物価高騰による家計負担の軽減をはじめとして、中小企業者や農業者、交通事業者等に対する支援を行うとともに、防災・減災及び国土強靱化に向けた公共事業の速やかな執行を図るなど、必要な対策を迅速かつ適切に講じるものである。

また、去る10月16日付けの人事委員会勧告に基づく一般職の給与改定等に要する経費を計上することとして編成したものである。

I 一般会計歳入歳出予算補正の内訳

1 補正額	480 億 3,028 万円
国経済対策分	418 億 6,323 万円
給与改定分	61 億 6,705 万円
2 補正後累計	9,935 億 2,557 万円
【令和5(2023)年度12月補正後予算額	1 兆 397 億 903 万円 比 95.6%】
3 補正の財源	
(1) 地方交付税	37 億 8,586 万円
(2) 分担金及び負担金	14 億 1,799 万円
(3) 国庫支出金	236 億 8,997 万円
(4) 繰入金	1,698 万円
(5) 繰越金	17 億 9,548 万円
(6) 県債	173 億 2,400 万円
※ 令和6(2024)年度末県債残高見込み	1 兆 1,587 億 230 万円
(臨時財政対策債除く)	7,117 億 3,698 万円)

II 債務負担行為 5 億 4,415 万円